



42.6^{km}の進化を
今、そして未来へ



令和7年10月29日
国土交通省中部地方整備局
北勢国道事務所

— 記者発表資料 —



国道1号 北勢バイパス

(市)日永八郷線～国道477号バイパス

開通6か月後の交通状況および開通効果をお知らせします。

1. 開通区間の概要

【別紙1】

2. 開通効果

開通後の交通状況

【別紙2】

・北勢バイパスに並行する道路の交通量が約5,700台/12時間減少

開通効果①:周辺企業の生産性向上

【別紙3】

・自動車製造・検査工場と四日市港間の朝夕混雑時の所要時間が短縮

開通効果②:生活道路(通学路)の安全性向上

【別紙4】

・小中学校通学路にも指定される生活道路の通過交通の割合が半減

開通効果③:消防・救急活動を支援

【別紙5】

・消防署からの出動において所要時間が短縮するとともに、時間のばらつきが縮小
・バイパスの開通に伴い10分間到達可能エリアが約2%拡大

3. 配布先

三重県政記者クラブ、第二県政記者クラブ、
四日市市政記者クラブ、桑名市政記者クラブ

4. 問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局 北勢国道事務所
副所長 田中 勝 計画課長 小里 大輔

電話 059-363-5511

つながる中部42.6

令和7年夏頃までに開通する各道路事業の整備効果や開通に向けての進捗状況など積極的にPR



2050年、世界一、賢く・安全で・持続可能な基盤ネットワークシステムの実現を目指す

World-class Infrastructure with 3S(Smart, Safe, Sustainable) Empowered NETwork



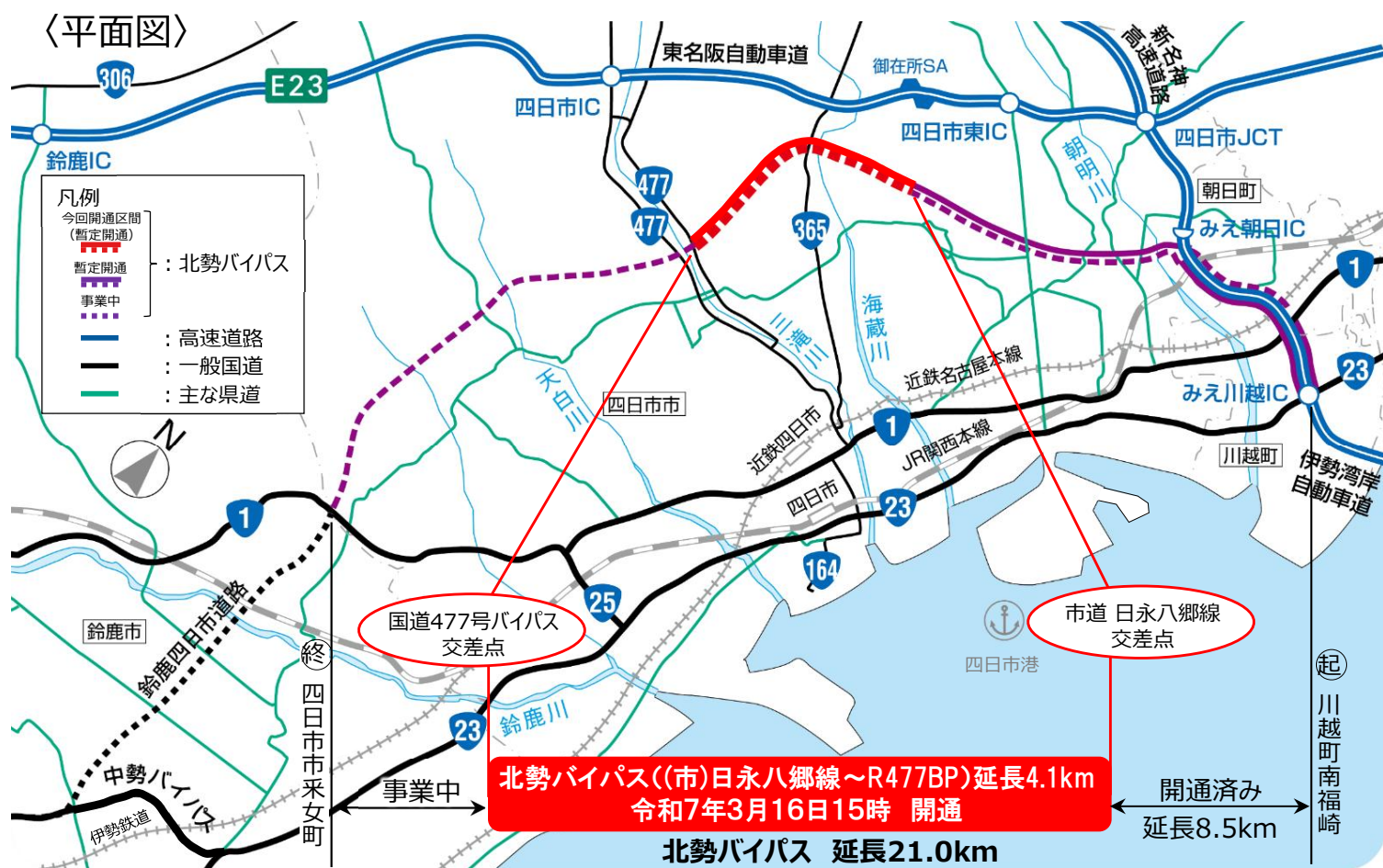
事業概要

国道1号北勢バイパスは、三重郡川越町南福崎（国道23号）～四日市市采女町（国道1号）に至る延長21.0kmの幹線道路です。

北勢バイパスの整備により、四日市市内の国道1号、国道23号等の渋滞緩和、災害に強い道路機能の確保及び地域活性化の支援等の効果が発現が期待されます。

現在、みえ川越IC～市道日永八郷線までの延長8.5kmが開通済みです。

今回の開通により、北勢バイパス21.0kmのうち12.6km（約60%）が開通となりました。



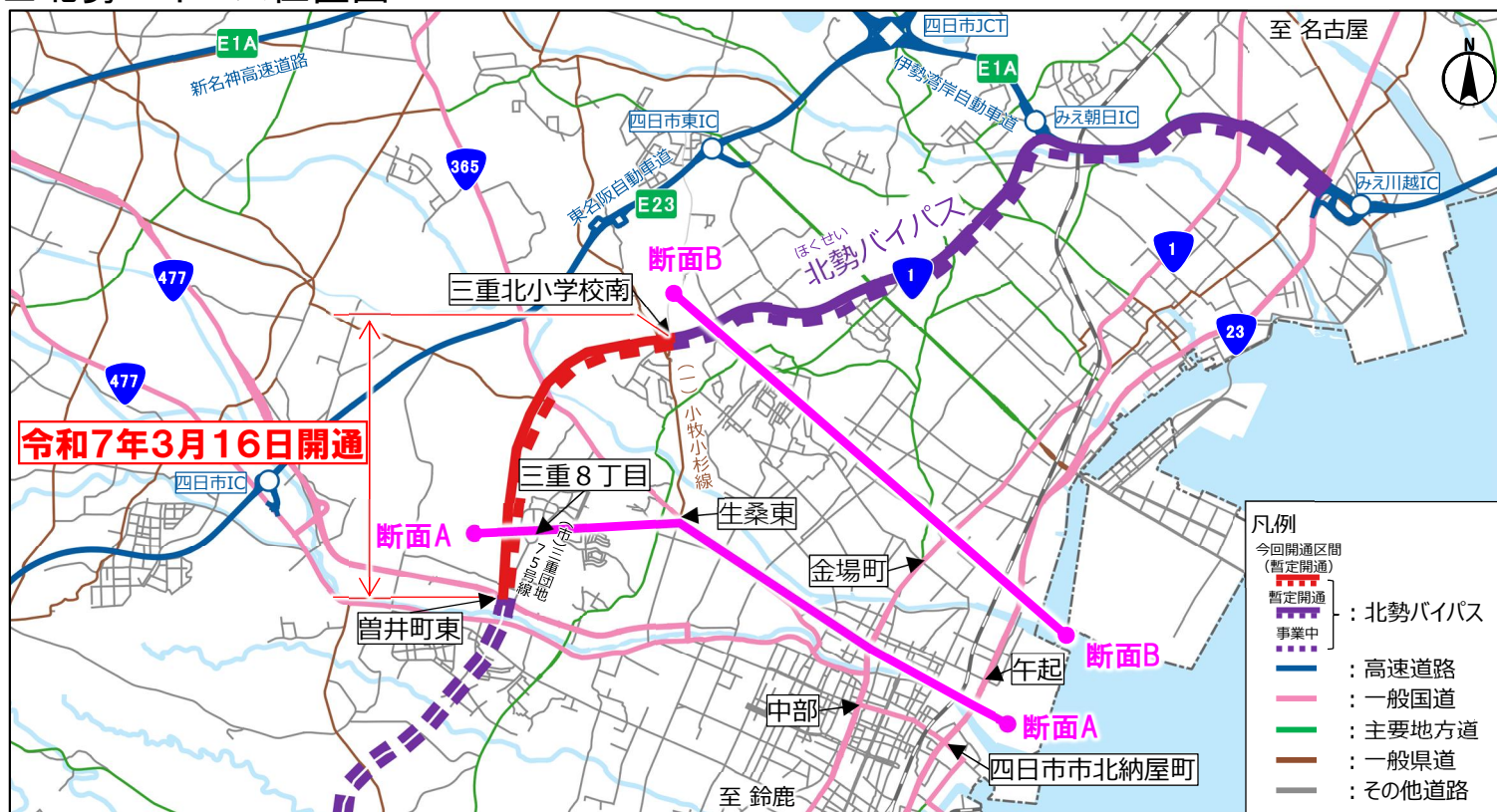
令和7年3月16日(日)
開通セレモニー・パレードの様子

北勢バイパスに並行する道路の交通量が減少

- 北勢バイパス開通区間の交通量は昼間12時間当たり約10,000台/12時間。
- 開通区間に並行する道路の合計交通量が約5,700台/12時間減少。
- 北勢バイパスの既開通区間※の交通量が約5,000台/12時間増加。

■北勢バイパス位置図

※三重北小学校南交差点以北区間



■開通前後の断面交通量の変化(7時～19時)

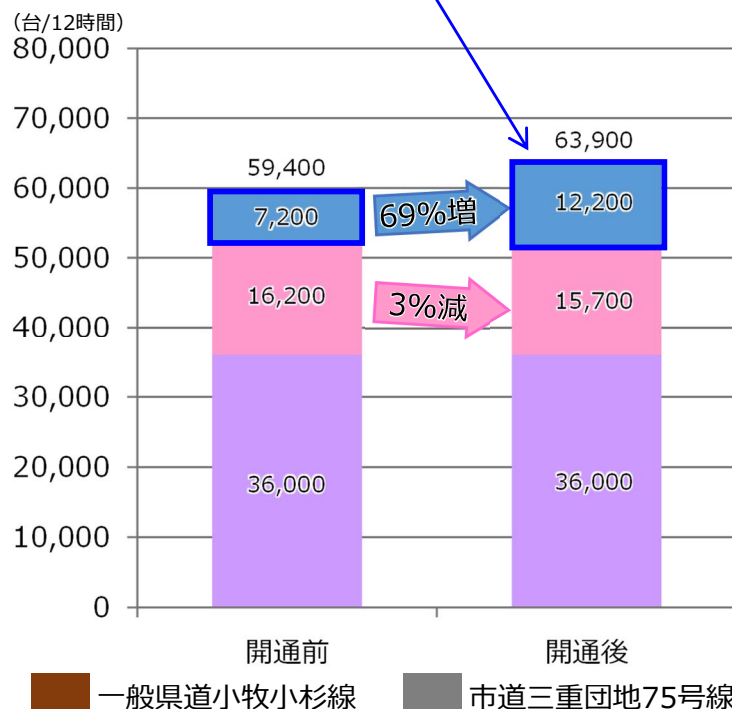
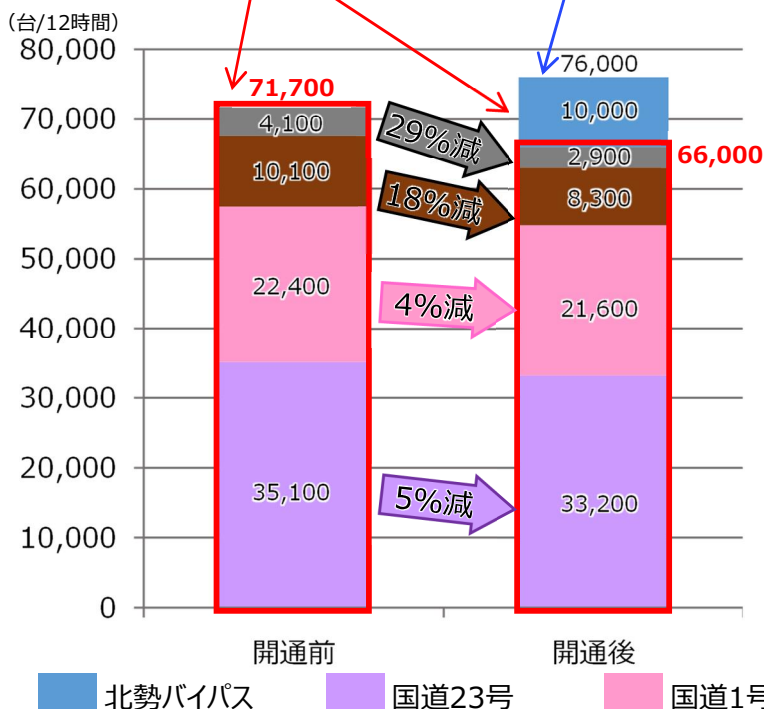
断面A

断面B

並行する道路の交通量
約**5,700台**/12時間**減**

北勢バイパス
開通区間の交通量
約**10,000台**/12時間

北勢バイパス既開通区間※の交通量
約**5,000台**/12時間**増**



出典：交通量調査結果

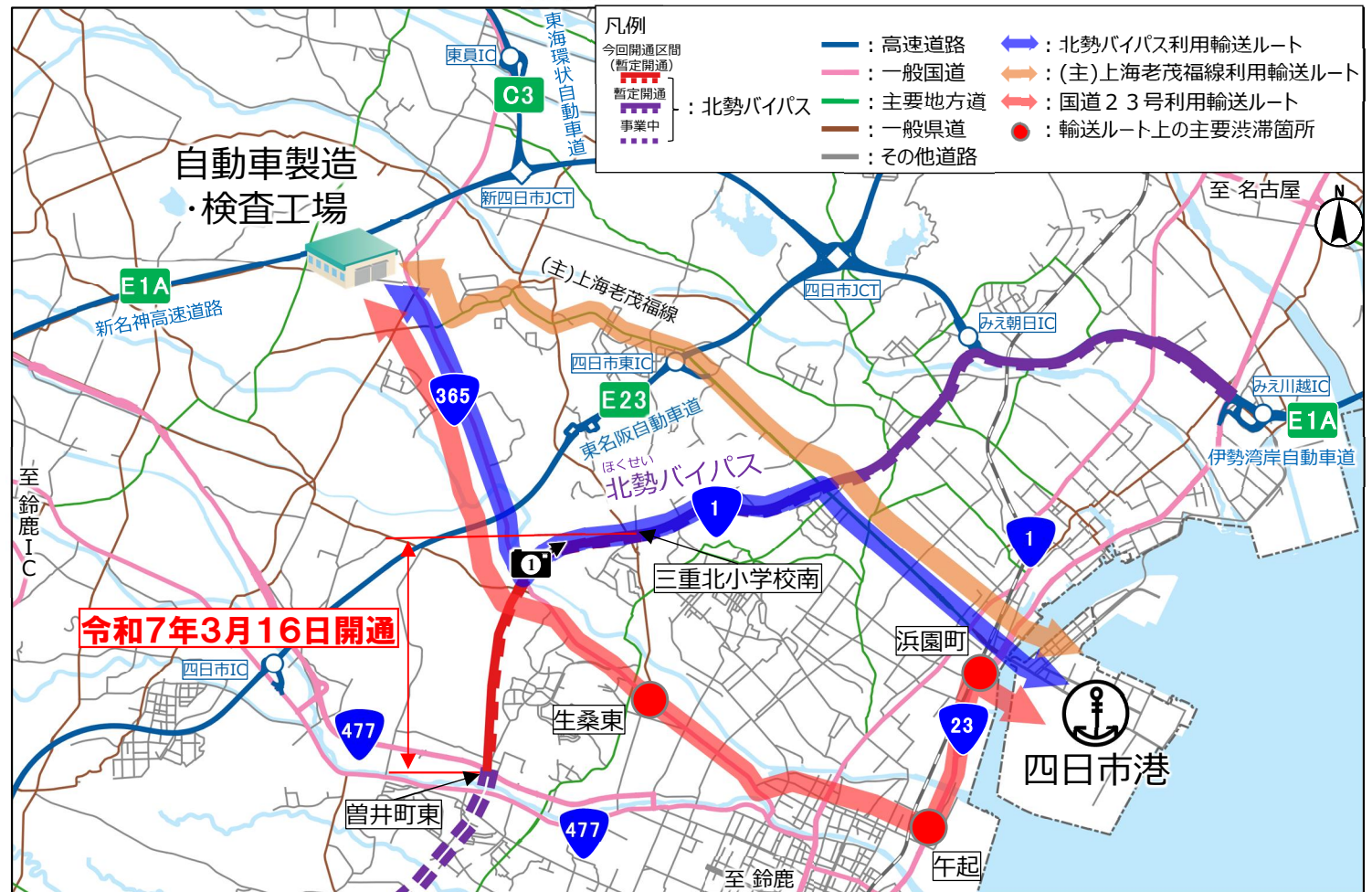
【北勢BP開通前】：令和6年10月9日(水)・令和6年10月31日(木)・令和6年11月27日(水)
【北勢BP開通後】：令和7年5月28日(水)・令和7年6月10日(火)・令和7年6月19日(木)

工場から四日市港へ！輸送時間を大幅短縮



○北勢バイパスの開通に伴い、自動車製造・検査工場と四日市港間のアクセスにおいて、朝夕混雑時の平均所要時間が短縮。

自動車製造・検査工場と四日市港間の輸送経路



自動車製造・検査工場と四日市港間の平均所要時間の変化（朝夕混雑時）

算出ルート名	平均所要時間					
	工場⇒四日市港(往路)			四日市港⇒工場(復路)		
	開通前	開通後	差	開通前	開通後	差
北勢バイパスルート		21分			21分	
(主)上海老茂福線ルート	22分	20分	-2分	24分	20分	-4分
国道23号ルート	30分	29分	-1分	35分	32分	-3分

出典：ETC2.0プローブデータ【北勢BP開通前】令和6年10月平日
 【北勢BP開通後】令和7年7月1日～18日平日
 混雑時間は、朝（6：00～9：00）および夕（16：00～19：00）で算出



自動車製造・検査企業の声

- ・北勢バイパス開通以降、当社の工場と四日市港を結ぶ完成車輸送において、従来利用していたルートの交通量の減少を感じており、所要時間の短縮が図られました。
- ・当社で製造する自動車を構成する部品の多くは鈴鹿方面から供給されておりますが、鈴鹿と当社を結ぶ主要道路は大雪の影響を受けることがあります。
- ・悪天候の際に北勢バイパスが迂回路として機能すれば、部品供給の安定性も更に高まると考えているため、引き続き、残る区間の早期整備に期待します。



出典：国土交通省ヒアリング調査（令和7年8月）



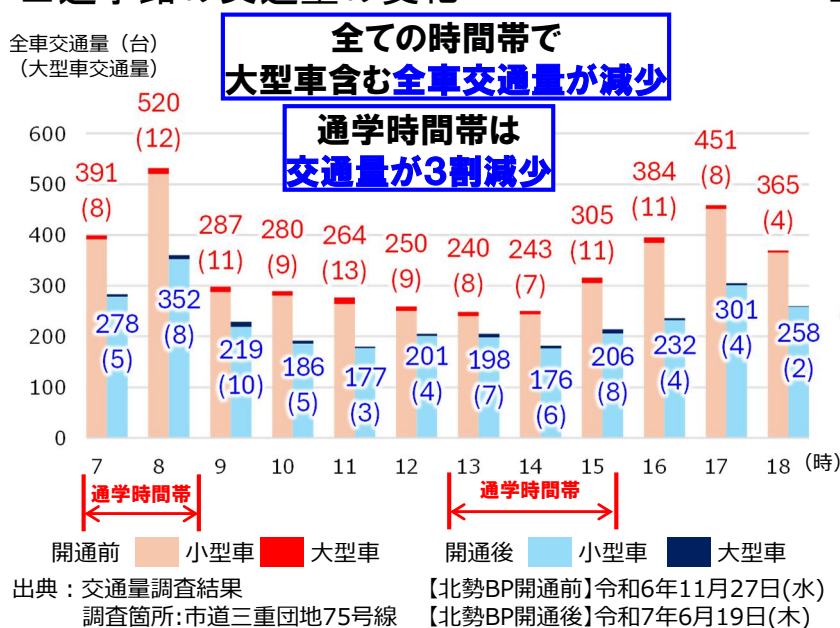
通学路のクルマが減って、もっと安全に！

- 北勢バイパス周辺の小中学校の通学路指定道路では、昼間12時間全ての時間帯で大型車を含む全車交通量が減少。特に通学時間帯※の交通量は、3割減。
- 北勢バイパスの開通に伴い、南北方向に通り抜けていた抜け道利用交通の割合が半減し、通学路の安全性が向上。

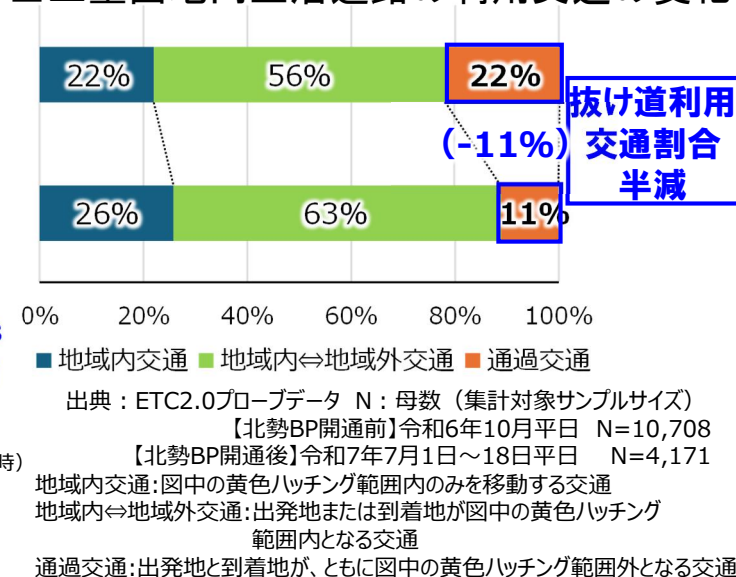
※交通量調査結果（調査箇所：市道三重団地75号線）開通前：令和6年11月27日(水)、開通後：令和7年6月19日(木)
登校時間（7～8時台）、下校時間（13～15時台）で集計



■通学路の交通量の変化



■三重団地内生活道路の利用交通の変化



■近隣小学校からの声

- ・児童の通学を見守るボランティアの方から「抜け道に利用されていた道路の交通量が減少したとを感じる」という声をお聞きしています。
- ・北勢バイパスが全線開通すれば、子供たちが安心して歩ける通学路が実現されると期待しています。

出典：国土交通省ヒアリング調査（令和7年8月）

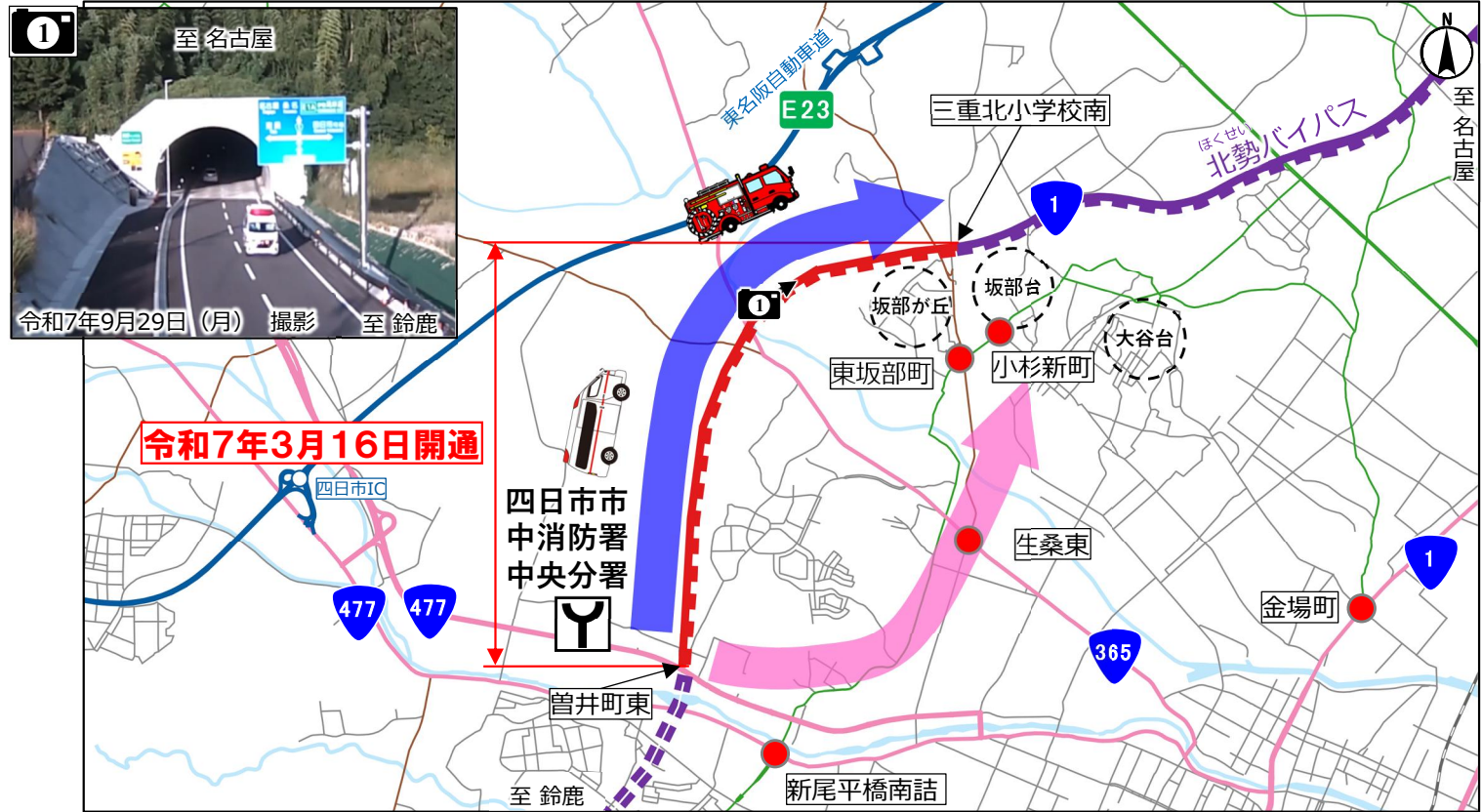


緊急車両がよりスムーズに！現場への到着時間を短縮

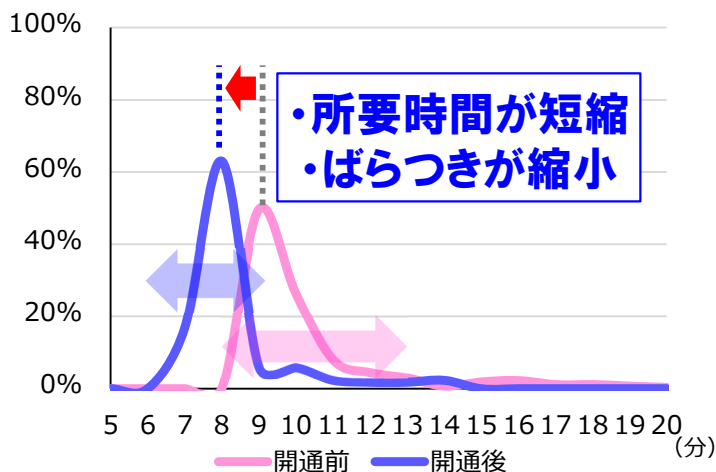


- 北勢バイパスに近接する消防署からの緊急出動時において、北勢バイパスの利用で現場への到着所要時間が短縮。
- 所要時間の短縮に伴い、消防署からの10分間到達可能なエリアも約2%拡大。

■四日市市中消防署中央分署から坂部地区周辺への出動ルート



■所要時間のばらつき(消防署⇒団地周辺)



出典：ETC2.0プローブデータ
 【北勢BP開通前】令和6年10月平日
 【北勢BP開通後】令和7年7月1日～18日平日
 ※所要時間は消防署から団地までの想定ルートで算出

■消防署からの10分間到達可能エリアの拡大

北勢バイパス
開通前
約69.8km²

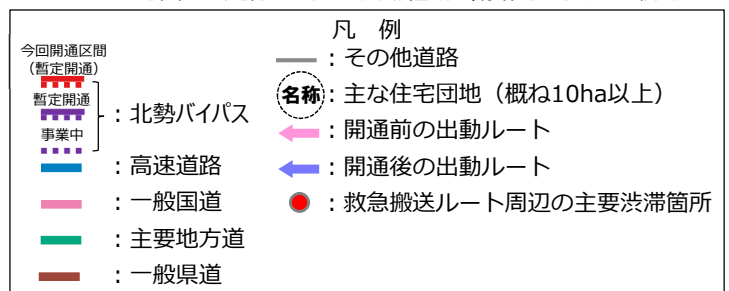
約2%
拡大

北勢バイパス
開通後
約71.3km²

出典：ETC2.0プローブデータ
 【北勢BP開通前】令和6年10月平日
 【北勢BP開通後】令和7年7月1日～18日平日

※四日市市中消防署中央分署を起点とし、
 実際の走行実績(サンプル)を基に算出した「10分間到達可能エリア」

※地図上の走行ルートは、出動経路を概略的に示した一例です



■四日市市消防本部の声

- ・北勢バイパス開通後、火災・救急・救助の出動時にバイパスを利用することで、以前よりも早く現場へ到着することができています。
- ・また、北勢バイパスは信号が少なく、道幅も広いいため、安全かつ迅速に現場へ向かうことができ、ストップ＆ゴーが少ないため傷病者の負担を減らすことにもつながっています。
- ・四日市市内の南北の主要幹線道路は主に国道1号と23号で時間帯によっては交通渋滞となることから、残る区間の完成を応援しています。



出典：国土交通省ヒアリング調査(令和7年8月)